
太陽光発電用パワーコンディショナで国内初の合格～中国国家電網 ZVRT 試験 中国での太陽光発電向けパワーコンディショナの拡販を加速

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:町田 精孝)は、大規模太陽光発電システム用パワーコンディショナ(以下、PCS)「SOLAR WARE630(型式 PVL-L0630E)」が中国の国有の電力送配電会社である国家电网公司(以下、中国国家電網)・中国電力科学研究院にて実施した PCS の性能試験「Zero Voltage Ride Through(以下、ZVRT)」に日本メーカーとして初めて合格したことをお知らせいたします。

<中国の ZVRT 試験とは>

ZVRT とは、系統短絡事故などにより瞬時停電が発生し系統電圧がゼロとなった場合でも系統崩落を発生させないために、PCS が系統に連系したまま運転を継続する機能です。

日本を含めて多くの国で要求されるのは系統電圧に 30%程度まで瞬時電圧低下が発生しても運転を継続する機能*1 です。中国のように系統連結の規制が厳しく、さらに ZVRT 対応の要求がある場合には、その実現のために高い技術力が求められます。

世界最大の太陽光発電市場を持つ中国では今後も緩やかな市場規模拡大が続くと見込まれています。

TMEIC は中国の ZVRT に合格した PCS を現地生産しており、中国市場における PCS 拡販でさらなる飛躍をめざします。



SOLAR WARE 630(型式 PVL-L0630E)

注) *1: Low Voltage Ride Through(LVRT) 機能

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレーターとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。